

給食だよ!

リ7月

給食センターからこんにちは♪#4

今月紹介する野菜は『きゅうり』です。きゅうりはインド・ヒマラヤ地方で生まれました。日本では最初、「黒いばく」といって、中国南部から伝わりました。今の日本で食べられている「白いばく系きゅうり」は、江戸時代末期に中国北部から日本に伝わりました。今月は【きゅうり辞典】。きゅうりのことをたくさんおしらせしたいと思います。



6(木)七夕献立

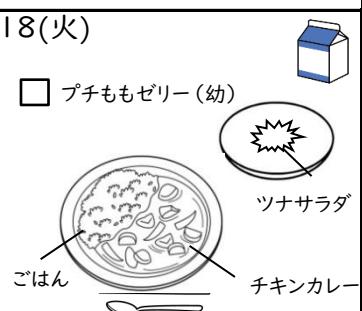
7月7日は『たなばた』です。『たなばた』には、天の川やはたおりの糸にみたてた“そうめん”を食べる風習があります。



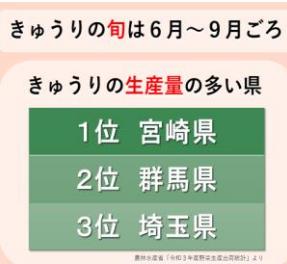
3(月)	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)
 ごまえ ごはん とうがんのスープに 夏野菜なのに“冬の瓜”と書ぐ”とうがん”。傷をつけずに低温で保管すると冬まで保存できるからです。	 <input type="checkbox"/> やさいふりかけ(幼) やさいチャンプルー ごはん もずくスープ 沖縄料理です。チャンプルーには、気温も湿度も高い沖縄で元気に暮らす人たちの知恵がつまっています。	 いんげんのごまえ ごはん かぼちゃのみそしる かぼちゃは保存性の高い野菜です。夏の暑さに強く、その強さを長く保つことができる”強い”食べ物です。	 たなばたゼリー もろこしごはんのぐ ごはん たなばたじる あすは七夕(たなばた)。夜空にまたたく★のように、もろこしごはんのぐをごはんにかけていただきましょう。	 ポテトサラダ げんりょうバーガーパン ラタトイユふうスープ 夏野菜のおいしさが集まったラタトイユ風スープに奈良育ちのズッキニ・トマト・にんにくを使っています。
10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)
 くきわかめのサラダ ごはん トックスープ 夏の食生活で気をつけたいこと①冷たいものを食べすぎると、体の中を冷やしすぎるので注意。	 じゃこピーマン ごはん かぼちゃのそぼろに 夏の食生活で気をつけたいこと②主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事を心がける。	 きゅうりのすのもの ごはん けんちんじる 酢の物に使う「酢」にはクエン酸が含まれています。クエン酸は、疲れと食欲の回復に効果があります。	 にんじんサラダ ごはん トマトマーボーデュふ 夏の食生活で気をつけたいこと③早起き・早寝をし、日中は無理せず体をうごかす。	 <input type="checkbox"/> ならのブルーベリージャム フルーツポンチ あおのりポテト ビーンズ こめこパン ペネ トマトソース 今日のフルーツポンチは、ソーダゼリー&はちみつレモンゼリーが入ったトロピカルバージョン！



きゅうりは、切り口が徳川家の家紋の”三つ葉葵”にしているので、江戸時代の武士は食べませんでした。



一学期最後の給食。
きちんとあとかたづけをしましよう
給食最終回



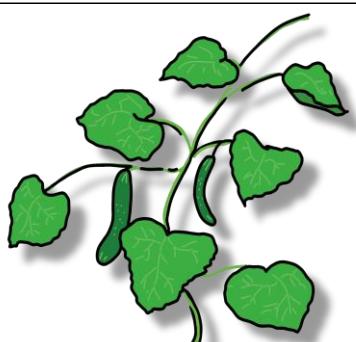
奈良県のきゅうりの生産量は41位。大和野菜に大和三尺きゅうり・黒滝白きゅうり・半白きゅうりがあります



きゅうりは「黄瓜」と書いていました。それは、黄色くなる頃に食べていたからです。



「胡瓜」と書くのは、中国の「胡」という地域から日本に伝わったからです。



きゅうりは95%以上が水分。その水分に熱中症予防に効果があるナトリウム・カルシウムなどが含まれているので、夏の水分補給のおやつにぴったりです。また、きゅうりやすいかなどの瓜科の植物には”シトルリン”というアミノ酸があり、末梢の血流の改善に働きます。これより、むくみや冷えの解消、運動パフォーマンスの向上などが期待できます。

～きゅうりをつかった給食レシピ～《なツナツサラダ》

*ざいりょう*2人分(出来上がり100gくらい)

きゅうり:40g

ツナ:40g

たまねぎ:6g

コーン:6g

にがうり:4g

えだまめ:4g

じゅんび

きゅうり:輪切り

たまねぎ:うす切り

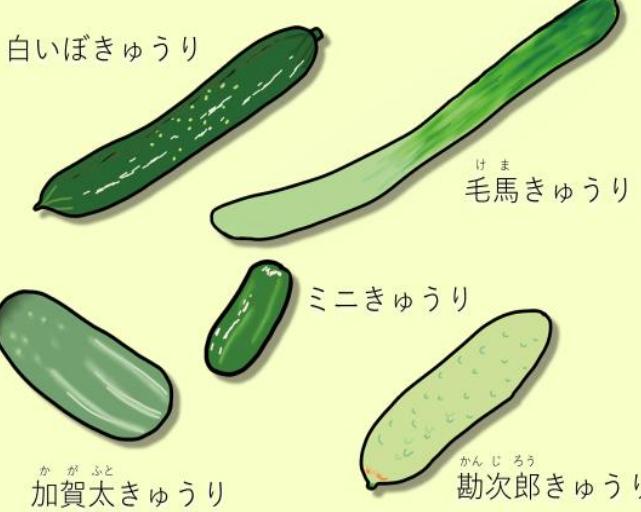
にがうり:うす切り

※にがうりは種とわたをとり、塩ゆでしたものを使いましょう

つくりかた

①じゅんびしたやさいをツナとマヨネーズである好みで、塩・コショウをし味を調える。

※給食では野菜は全て加熱したもの提供しています。



2学期の給食は8月30日(水)

から始まります。準備をお願いします。